

環境計画町民会議が  
条例案を答申しました

10月31日、環境計画町民会議五十嵐代表から舟橋町長へ「羽幌町の環境を守る基本計画」と「羽幌町環境保全条例」の答申書が渡されました。

町長の私的諮問機関 羽幌町の環境を守る基本計画策定にかかる町民会議」として、公募等により集まった65名のメンバーへ町長から委嘱状が渡されてから2年4カ月、グループ討議を重ねながら羽幌



舟橋町長(左)に「羽幌町の環境を守る基本計画」と「羽幌町環境保全条例」を手渡す五十嵐代表(右)

町の環境の問題点を洗い出し、行政や事業者、住民、観光客が環境を守るためにしなければならぬことを明らかにし、条例や基本計画の策定では、役場内部に設置されたプロジェクトチームとの意見のやりとりで作り上げられてきました。

環境保全条例は、マナー条例として住民、事業者、観光客が環境を守るために、それぞれがやらなければならないことを明示しています。

環境を守る基本計画には、町民自らが動く行動指針スローライフ計画)として、環境を守るために町民への一層の行動を求めています。

今後は環境審議会、羽幌町議会の審議を経て来年3月議会に提案される予定ですが、答申をひとまず終え、今までの町民会議の活動の総括として五十嵐代表にお話を伺いました。

聞き手 ゼロからのスタートだった計画作りを終えられ大変お疲れ様でした。

五十嵐 65名のメンバー全員の努力の結晶です。最初のグループ討議は全く手探りの状態で、どうなるのか見当もつきませんでした。

会議の回数を重ねるうちに、年齢も職業もバラバラなメンバーだけにいろいろな意見が出るようになりました。みんなある種の使命感を持って積極的に参加しているのを感じたし、それがお互いにいい影響を与え合ったと思います。私もパワーをもらいました。本当にいいメンバーと出会うことができたと思います。

計画作りが終わったといっても、この環境計画は策定がゴールではありません。いかに持続的なものとして継続することができるか?ここからがスタートだと思っています。

聞き手 計画の中には町、事業所、そして町民としての役割が示されています。

五十嵐 計画の中では町民自らの行動指針スローライフ計画)として、町民会議が行っ

てきた運動そのものであるリサイクルや省エネルギー、家庭から川や海を汚さない運動を呼びかけていますが、具体的な行動の前に、まず日頃の生活の中で少しでも環境のことを意識してもらえるようにすることが大事だと考えています。

特に、今後は子ども頃から環境について考える教育ができればと思っています。

子ども達は飲み込みが早い。学校では普段のこみを分別して捨てるようになっていますが、自宅で親が分別しないで一般ごみに捨てたごみをこみ袋から出してちゃんとして分別している子もいるんですよ。(笑)

それでも、最近では私の身の回りでも環境を意識し始めた人が徐々に増えている実感があります。

聞き手 そういえば、先日の町民芸術祭舞台部門発表会の日にロビーで無料配布されたプリンセツけんは、二百個も用意されたにも関わらず、わずか30分ほどで全て無くなっ

たそうですね。町内でもプリンセツけんの知名度が上がってきました。

五十嵐 2年前はプリンセツけんなんて誰も知らなかった。無料配布の日は、説明をしなくても、ほとんどの方が知っているようでした。プリンセツけんづくり講習会も毎回新しい方がお見えになっているそうです。

聞き手 積極的な活動がとても印象的です。

五十嵐 実は、これらの町民会議が独自事業として取り組んできたプリンセツけん作りやまちあかり運動は、元々スローライフ計画の内容として生まれたもので、計画がスタートしてから実施される予定でした。

ところが、メンバーの計画がスタートしなくても、できることがあるなら、やってもいいんじゃない?という思いからすぐ実行に移されたんです。本当にメンバーのみなさんは積極的です。

聞き手 環境計画町民会議は18年の3月で解散という形になります。その後の組織はどのようにお考えですか?

五十嵐 現時点では具体的にはまだ何も決まっています。が計画の中でも環境意識を持ち、自ら考え行動できる住民を増やしていくためにも、住民の組織づくりは必要だと考えています。今まで町民会議の活動に興味があった方もどんどん参加して欲しいですね。

今後はもっと町全体として横の連携が持てるよう、商会、漁協、農協といった町内の事業所などからも広く参加していただけるような組織になればと思っています。

とにかく、この計画は10年や20年といった短いものではありません。未来の子どもたちへ、素敵な環境を残していくためには、持続的な計画としなければなりません。そのためにも継続性のある活動を続けていくのが私たちの役割だと考えています。

「持続的な環境を、  
未来の子ども達に  
繋いでいくのが私  
たちの役割」

五十嵐 芳信  
(いがらし よしのぶ)

1940年生まれ。行政書士。  
平成15年6月の環境計画町民会議の発  
足時より代表に就任。

